大正五年十月

出版第一〇八號

蔬菜の蚜蟲類

臺灣總督府農事試驗場

農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895

430.34
4322
n.108

目次

一 總說……一

(一)序 言……一

(二)術語の說明……一

(三)檢 索 表……七

二 各 論……九

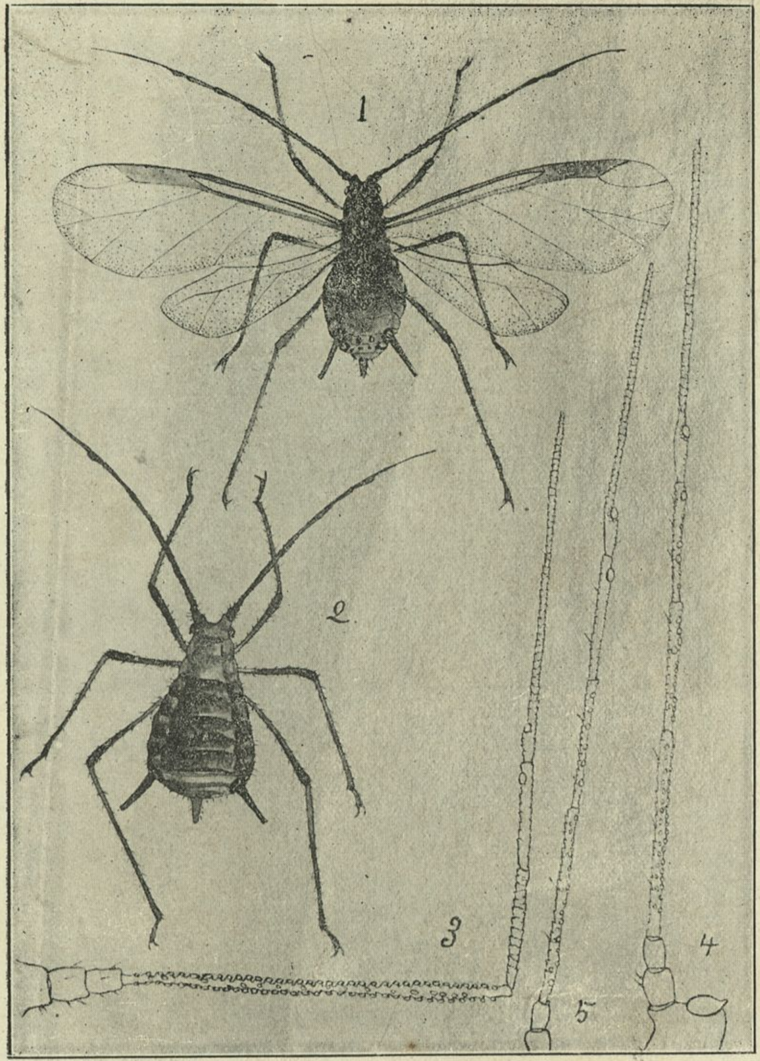
1. チシヤノアカアブラムシ(新稱)……九
2. ゴバウノアブラムシ(新稱)……一一
3. ヱンドウノアブラムシ(新稱)……一四
4. ペルシヤアブラムシ……一七
5. チシヤノミドリアブラムシ(新稱)……二三
6. ダイコアブラムシ……二五
7. ダイコアブラムシモドキ(新稱)……二八
8. ワタアブラムシ……三三
9. マメアブラムシ……三六

農業部農業試驗所典藏
由國家圖書館數位化

農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895

チシヤノアカアブラムシ

Macrosiphum picridis L.

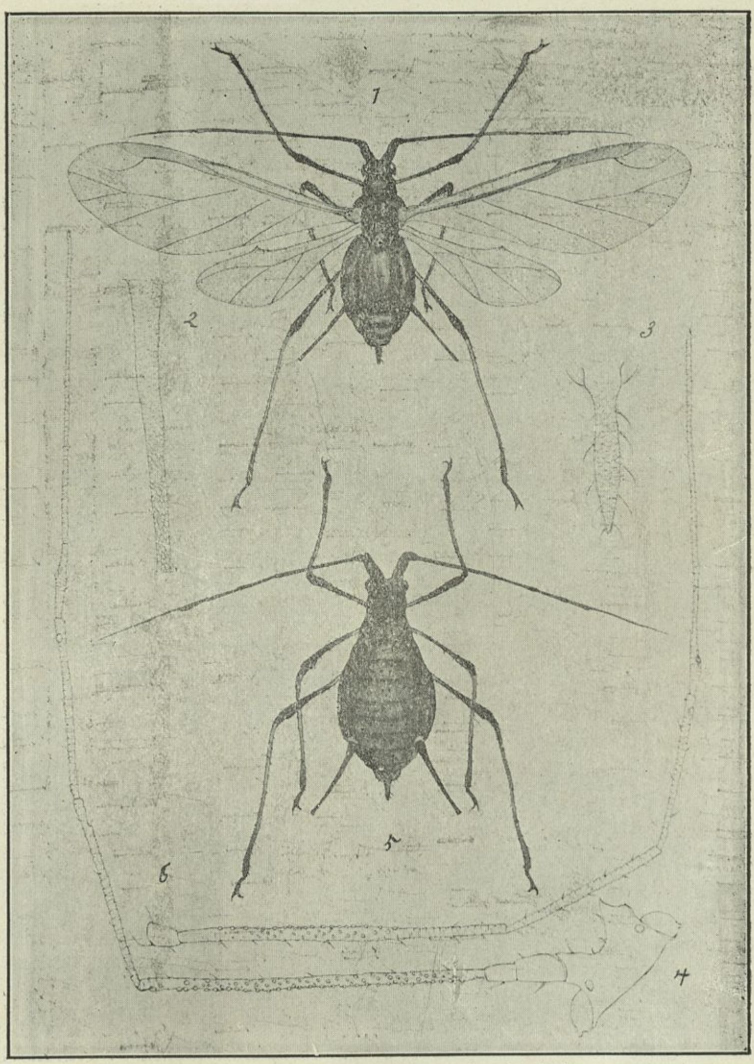


1. 有翅胎生雌虫　2. 無翅胎生雌虫　3. 同上觸角
4. チシヤノミドリアブラムシ有翅胎生雌虫ノ觸角
5. 同上無翅胎生雌虫ノ觸角

農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895

ゴバウノアブラムシ

Macrosiphum solidaginis Fab.



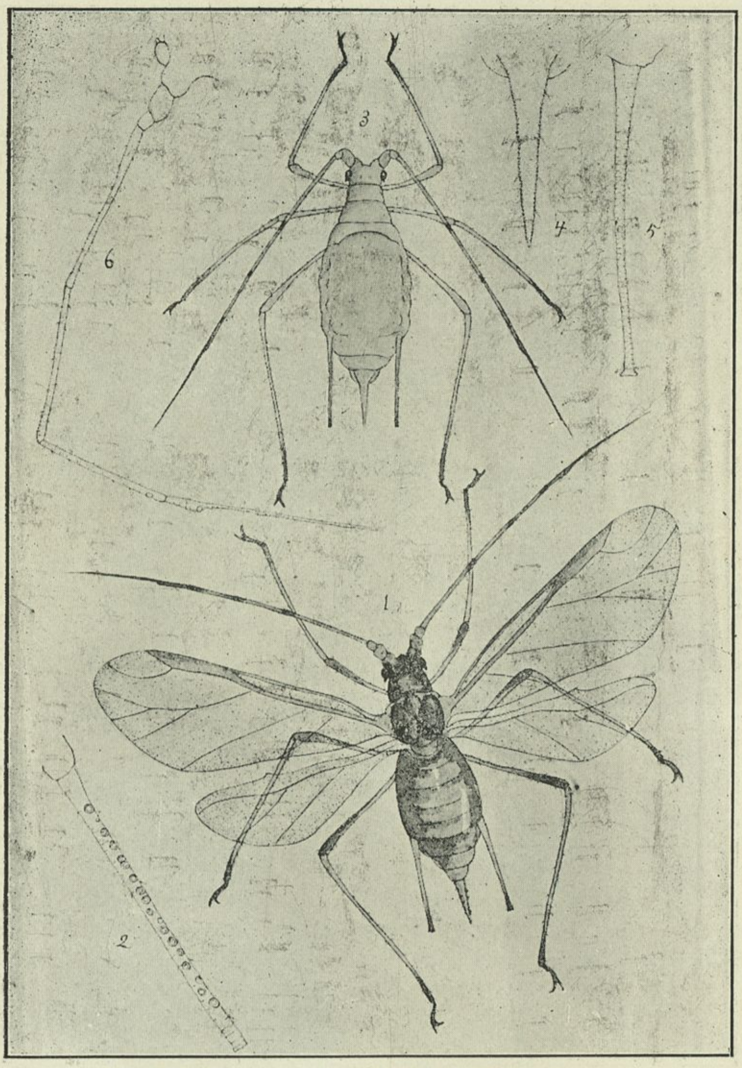
(牧茂市郎氏原圖)

1. 有翅胎生雌虫　2. 同上角狀管　3. 同上尾片
4. 同上觸角及頭部　5. 無翅胎生雌虫　6. 同上觸角

農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895

エンドウノアブラムシ

Macrosiphum pisi kalt.

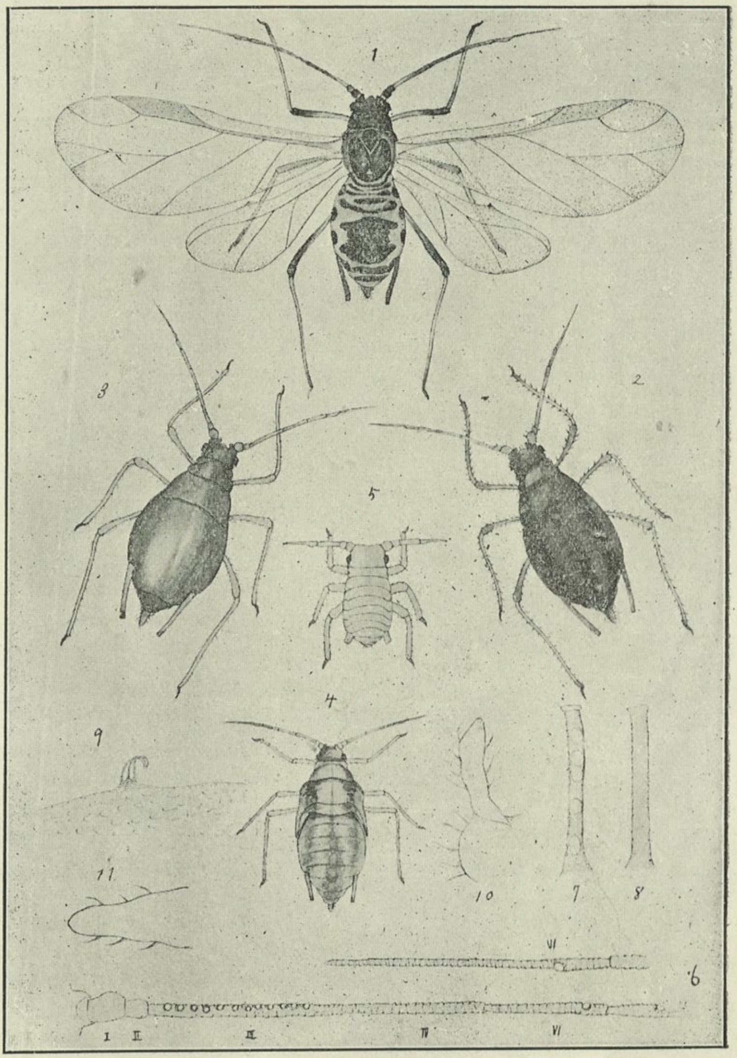


1. 有翅胎生雛虫　　2. 同上觸角· 第三節
3. 無翅胎生雌虫　　4. 同上尾片
5. 同上角狀管　　6. 同上觸角

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

ペルシヤアブラムシ

Myzus persicae Sulz.

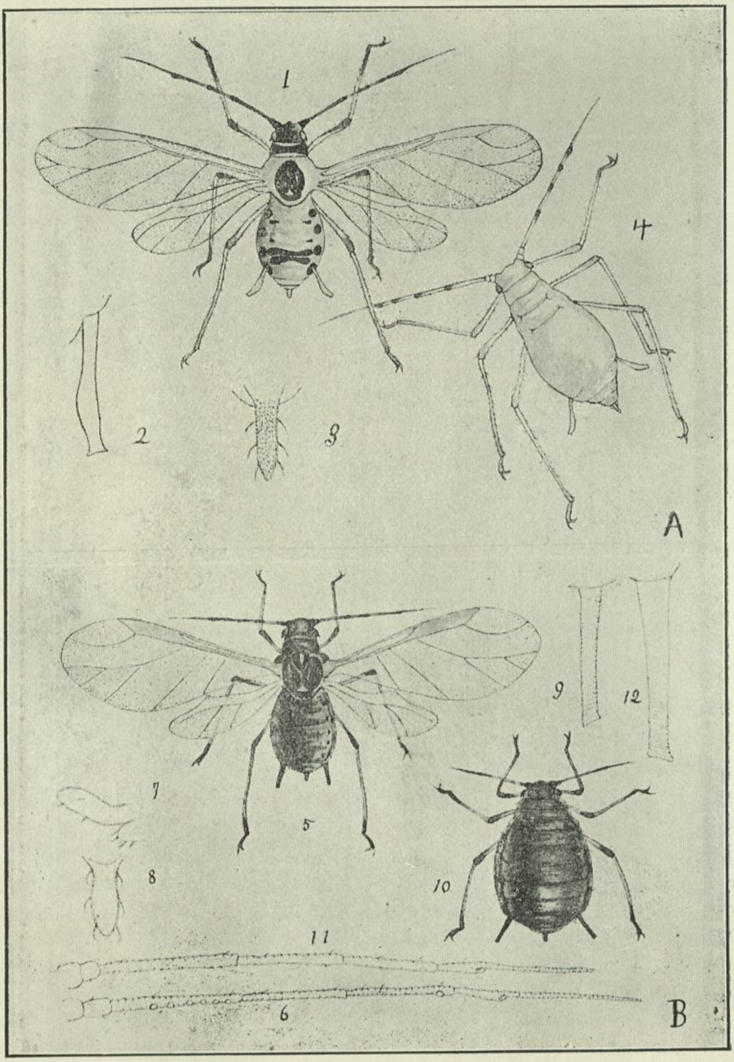


1. 有翅胎生雌虫
2. 無翅胎生雌虫(緑色ノモノ)
3. 同上(赤褐色ノモノ)
4. 蛹
5. (幼虫第一齡)
6. 有翅胎生雌虫ノ觸角
7. 同上角狀管(背面)
8. 同上角狀管(側面)
9. 同上抱刺
10. 同上尾片(側面)
11. 同上尾片(背面)

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

A. チシヤノミドリアブラムシ· Rhopalosiphum lactucae Kalt.

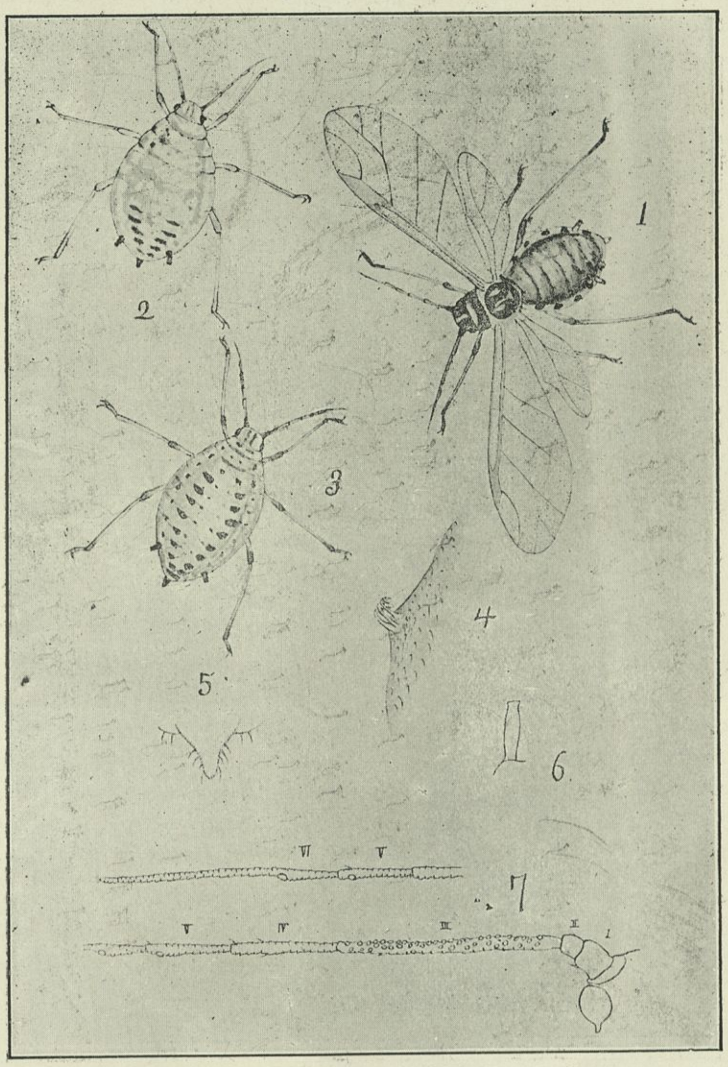
B. マメアブラムシ Aphis rumicis L.



1. 有翅胎生雌虫　2. 同上角狀管　3. 同上尾片
4. 無翅胎生雌虫(以上A)　5. 有翅胎生雌虫
6. 同上觸角　7. 同上尾片(側面)　8. 同上尾片(背面)
9. 同上角狀管　10. 無翅胎生雌虫　11. 同上觸角
12. 同上角狀管

タイコアブラムシ

A phis bras sicae L.

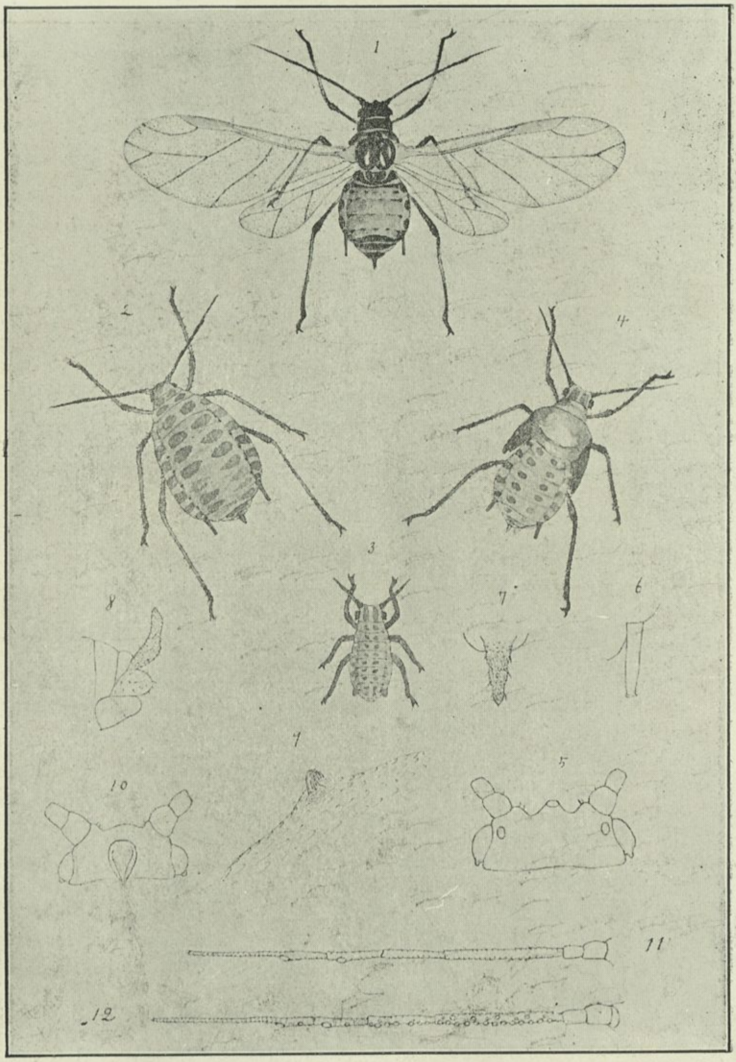


1. 有翅胎生雌虫（擴大）　2. 無翅胎生雌虫（擴大）
3. 同上白粉を除去せるもの（擴大）
4. 後翅の抱刺（擴大）　5. 有翅胎生雌虫の尾片（擴大）
6. 同上角狀管（擴大）　7. 同上觸角（擴大）

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

ダイコアブラムシモドキ

Aphis pseudobrassicae Davis.

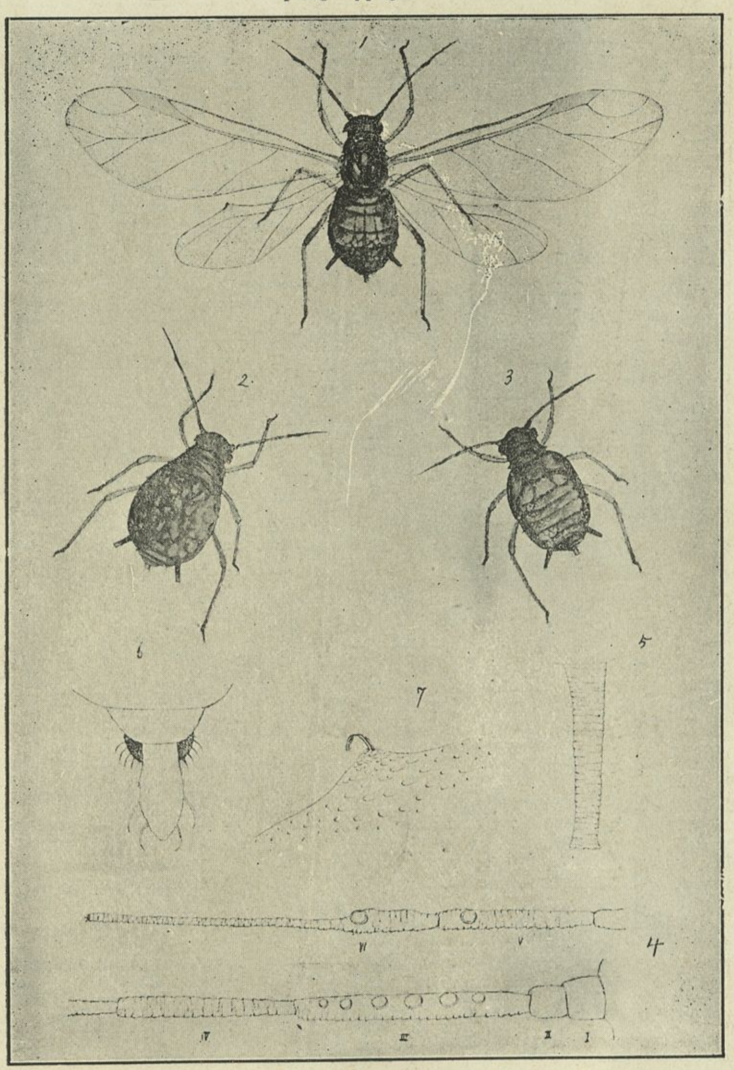


1. 有翅胎生雌虫　2. 無翅胎生雌虫　3. 幼虫　4. 蛹
5. 有翅胎生雌虫ノ頭部　6. 同上角狀管　7. 同上尾片（背面）
8. 同上尾片（側面）　9. 同上後翅ノ抱剌
10. 無翅胎生雌虫ノ頭部　11. 同上觸角
12. 有翅胎生雌虫ノ觸角

農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895

ワタアブラムシ

Aphisgossypiiglov.



1. 有翅胎生雌虫　2. 無翅胎生雌虫　3. 蛹
4. 有翅胎生雌虫ノ觸角　5. 同上角狀管　6. 同上尾片
7. 同上抱刺

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

蔬菜の蚜蟲類

臺灣總督府農事試驗場技手　牧　茂市郎

一　總說

(一) 序言

近來本邦産農作物の害蟲に關する調査研究物相次で發表せられ其重要なるものは殆んど凡て和名及學名確立せるにも拘らず蚜蟲科の昆蟲は尙混沌たるものあり。特に蔬菜の蚜蟲に於て甚だし、唯僅かにダイコアブラムシ Aphis brassicae とマメアブラムシ Aphis rumicis の二者を區別せるのみにして其他は凡て Aphis spp. として取扱はれつゝあるは遺憾限りなし、於玆余は明治四十五年以來臺灣産蔬菜之蚜蟲の調査に著手し玆に九種を區別し得たれば左に順次之を記載せんとす、而して和名の存在せざるものには新たに和名を附し爾後此名稱を使用せんことを希望し置けり、本調査の結果蔬菜之蚜蟲は何れも各國に廣く分布せる普通の種類にして特に珍とするもの一も存在せざりき、但今後に於て發見するものは此限に非らず。

(二) 術語の說明、

蚜蟲科は有吻目の一科にして介殼蟲科と木蝨科との間に分類上の位置を占め種類の多きこと生態の複雜なることは昆蟲界に名あり、然して蚜蟲科に屬する昆蟲を記載せんには先づ順序として記載に要する一般の術語を說明し且つ之を一定し置かざる可らず、蓋し術語にして其意味を知らざれば何等の記載も了解すること能はざるべく、又夫々學者に依りて特種の術語を用ひつゝあるのみなら

故に依るべき術語を卷頭に羅列し置くことは必要缺ぐ可らざることなり。

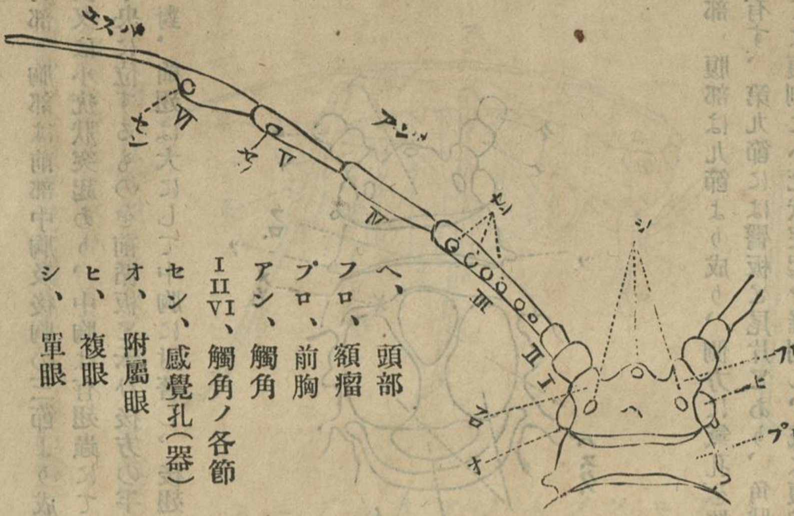
蚜蟲は卵、幼蟲、蛹、成蟲の四區別あるのみならず、世代交番を營み、諸種の形質を具ふ、吾人が普通に見る所のものは主として無翅胎生雌蟲（單に無翅蟲と云へる時は之を指す）にして、單性的に多數の無翅胎生雌蟲となるべき幼蟲を胎生す、此雌蟲は複た單性的に無翅胎生雌蟲を胎生す、如斯なれば其蕃殖力實に驚くべきものあり、而して時々有翅胎生雌蟲を產し、其飛翔に依り新宿主を求め少數の無翅胎生雌蟲を胎生し、玆に新しく植民す、然るに一年の或時期に限り無翅の卵生雌蟲と有翅雄蟲とを生じ、交尾產卵す、卵子は一定期間の後に孵化して胎生母蟲となり以上の生活史を反覆す、如斯諸種の形態あるも分類上最も重きを爲すものは有翅胎生雌蟲にして此形態の一般を說明し術語を列記すれば他は之に準じて理解し得べきものなり。

蚜蟲の體は頭部胸部腹部の三つに區分せらる。

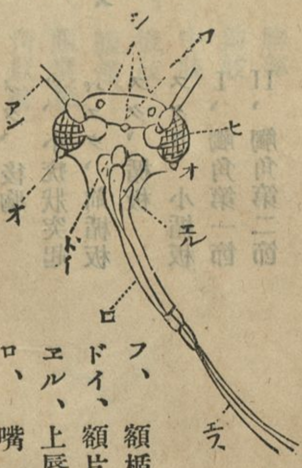
(一)頭部　頭部には一對の長き觸角あり、普通六節より成り（幼蟲は四節）、第六節は指頭狀を呈し長き爪狀の鞭毛部と基部とに分る、觸角の或節には環狀若くは諸種の形を爲せる感覺孔（器）あり、眼には三種の別あり、第一は一對の複眼、第二は之が後外角に位する疣狀突起物にしてラトライル及ブルマイスタアの所謂附屬眼なり、第三は單眼にして普通三箇あり、口器は疣狀の額片より起る嘴狀の吸引口にして一般有吻目と等しく主として下唇の變化せるもの、上面に溝あり。溝の基部に小なれども上唇の退化せる葢あり。溝の中には大腮及小腮の變化物たる三箇の長刺あり、又種類に依りては額楯の左右に明かなる額瘤一對を具へ此上に觸角を關接す、頭部及觸角を圖解すれば左の如し。

農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895

蚜蟲の頭部



ヘ、頭部
フロ、額瘤
プロ、前胸
アシ、觸角
I II VI、觸角ノ各節
セン、感覺孔(器)
オ、附屬眼
ヒ、複眼
シ、單眼

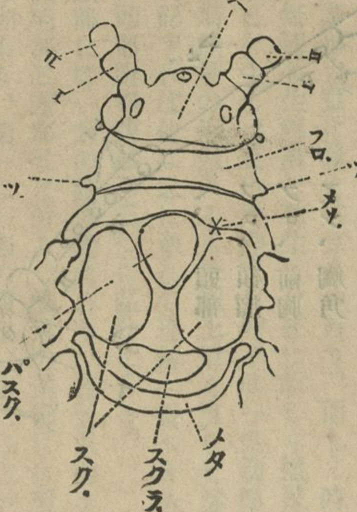


フ、額楯
ドイ、額片
エル、上唇
ロ、嘴
エス、長刺
エスバ鞭毛部

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

(二)胸部　胸部は前部中胸及後胸の三節より成り、夫々一對の肢を具へ、前胸の側面には屢々一箇の小歯又は小疣狀突起あり、中胸は有翅蟲にては最も大、背部は殆んど楯板に依つて占領せられ、其前中央に位するものを前楯板と云ひ後方の半月形片を小楯板と云ふ、後胸は小にして著しからず、翅は二對、前翅は大にして中胸に附著し、後翅は小にして後胸より起る。

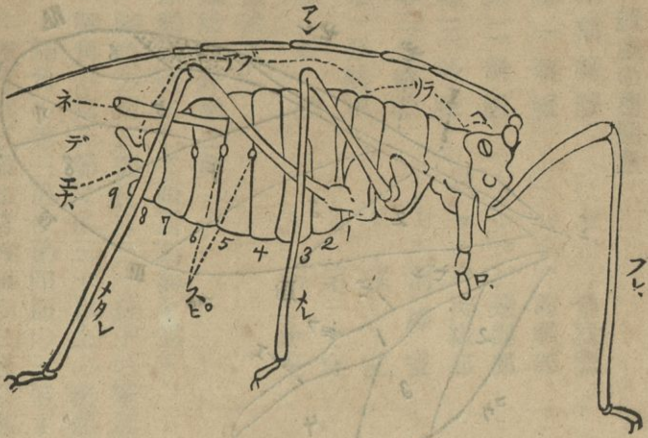
蚜蟲の胸部



ヘ、頭部
フロ、前胸
メソ、中胸
メタ、後胸
ツ、小疣狀突起
パスク、前楯板
スク、楯板
スクラ、小楯板
I、觸角第一節
II、觸角第二節

(三)腹部　腹部は九節より成り、側方に氣孔を羅列し、第六環節上若しくは第五第六兩節の間に角狀管を有す、第九節には臀板と尾片とあり、角狀管及尾片の形態は分類上大切なるものなり、種類に依りては腹側に小疣狀突起を羅列し、或は腹背に肉隆あることあり。

蚜蟲の腹部



ヘ、頭部
アン、觸角
ロ、嘴
ソラ、胸部
プレ、前肢
メレ、中肢
メタレ、後肢
アブ、腹部
1…9、腹環節
ネ、角狀管
デ、尾片
エナ、臀板
スピ、氣孔

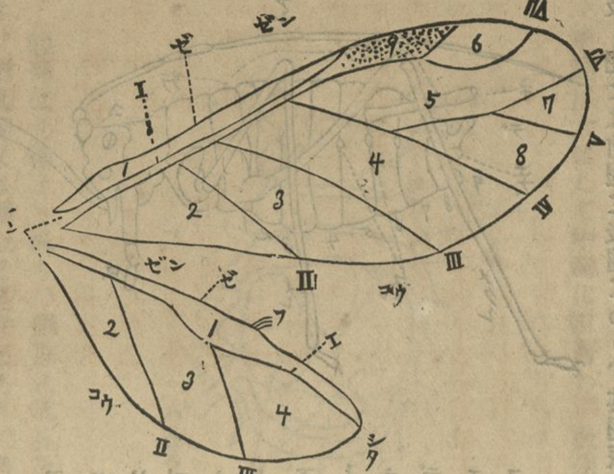
(四)翅及肢　翅には前翅と後翅とあり、其翅脈は分類上大切なるものなれば典型的の翅を描き以て各部分及各脈の術語を示さんとす。

肢には前肢中肢後肢の三對あり夫々基節轉節腿節脛節及二節より成れる蹠節あり、蹠節の先端に

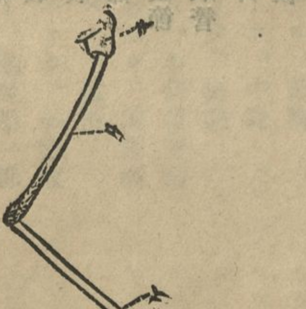
農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895

は一雙の爪あり。

蚜蟲の翅



蚜蟲の肢



蚜蟲の翅圖解

I 副前緣脈 ゼ、前緣脈

II 第一斜脈 ゼン、前緣部

III 第二斜脈 シタ、翅端部

IV 第三斜脈 コウ、後緣部

V 第二分岐脈 1 前緣室

VI 第一分岐脈 2 基室

VII 緣紋脈 3 第一中室

4 第二中室

5 下外緣室

6 外緣室

7 第二肘室

8 第一肘室

9 緣紋

フ、抱刺

イン、翅の附著點

蚜蟲の肢圖解

キ 基節

タ 腿節

ケ 脛節

フセ 蹠節

ツ 爪

(三) 檢索表

A. 有翅胎生雌蟲之部

I 額瘤顯著にして頭頂凹溝を爲す、

1. 觸角の第三節には三十以下の環狀感覺孔を有す……エンドウノアブラムシ

2. 觸角の第三節には三十以上の環狀感覺孔を有す……

1. 觸角の第三節は第四節の三倍より長し……チシヤノアカアブラムシ

2. 觸角第三節は第四節の二倍に達せず……ゴバウアブラムシ

II 額瘤は顯著にして頭頂凹溝を爲さず……ペルシヤアブラムシ

III 額瘤は無きか又は甚だ小なるもの存在す

1. 角狀管は棍棒狀を爲す……チシヤノミドリアブラムシ

2. 角狀管は圓柱狀を爲す
1. 觸角の第三第四節共に多くの環狀感覺孔あり…………ダイコアブラムシモドキ
2. 觸角の第四節には環狀感覺孔なし
1. 觸角の第三節の感覺孔は十個以下なり
1. 翅脈は暗黃なり…………ワタアブラムシ
2. 翅脈は黑し…………マメアブラムシ
2. 觸角の第三節の感覺孔は二十以上なり…………ダイコアブラムシ

B. 無翅胎生雌蟲之部

I 額瘤は顯著にして頭頂凹溝を爲す、
1. 觸角の第三節に感覺孔を有す
1. 觸角の第三節は第四節の三倍より長し…………チシヤノアカアブラムシ
2. 觸角の第三節は第四節の二倍より短かし…………ゴバウノアブラムシ
2. 觸角の第三節に感覺孔を有せず…………エンドウノアブラムシ

II 額瘤は顯著にして頭頂凹溝を爲さず凸なり…………ペルシヤアブラムシ

III 額瘤は小なるか或之を缺く、
1. 角狀管は棍棒狀を爲す…………チシヤノミドリアブラムシ
2. 角狀管は圓柱狀を爲す
1. 皮膚は明かなる龜甲狀の網目あり
1. 地色淡綠なり…………ダイコアブラムシモドキ

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

2 地色暗黒乃至黒緑なり……………………マメアブラムシ

2. 皮膚は明かなる龜甲狀の網目なし

1. 體白粉を粧ふ……………………ダイコアブラムシ

2. 體白粉を粧ふことなし……………………ワタアブラムシ

二 各論

3. チシヤノアカアブラムシ（新稱）

學名 *Macrosiphum pieridis* L.

有翅胎生雌蟲 Winged viviparous female.

體長	二、二粍	體幅	一、〇粍
翅の開張	七、一粍	觸角	三、二五粍
尾片	〇、三粍	角狀管	〇、六粍

地色は美麗なる赤色、頭部の先端、前胸及楯板は暗褐色、腹部の前半は黒色なり。複眼は暗赤色、單眼は明かなり。觸角は大なる額瘤の上に位し全體黒色なり。第一第二の兩節は短大、第三節は頗ぶる長く以下の各節の長さの和より少しく短かきのみ、第四節と第五節とは等長第六節は前節の半より短かく其三分の一より大に、鞭毛の七分の一以下なり。第三節には約六十内外の感覺孔を有し何れも突起せる鋸歯の上に存在す故に第三節の周縁は鋸歯狀を呈す。而して觸角の各節の長さは平均粍にて次の如し。

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

第一節	第二節	第三節	第四節	第五節	第六節	鞭毛部	合計
0·一三	0·一	一·四	0·三	0·三	0·一三	二〇·九	三·二五

前胸は頭部の幅と等しく大なる暗色の横帶を有す。中胸は最大にして楯板は暗褐なり。腹部の初の三節及第四第五節の中央は黑色、特に腹側に存在せる三對の肉瘤は濃厚なる黑色なり。角狀管の基部には褐色の圓紋あり第六節の中央には二箇の褐色小圓紋を有す。角狀管は長大、圓柱狀を呈し基部稍大、黑色にして尾片と相竝ぶ、尾片は劔狀、長大にして基部廣く中央少しく狹く數對の刺毛を具へ黃色なり。翅脈は尋常、緣紋は短大、緣紋脈は稍深く灣曲す。肢は細長にして淡黃色、腿節の末端の大部分と脛節の基部及末端と蹠節とは黑色なり。

無翅胎生雌蟲　Wingless viviparous female.

體長	二、五粍	體幅	一、二粍
觸角	三、一粍	角狀管	〇、七粍
尾片	〇、四粍		

體は杏子狀、地色は美麗なる紅赤、腹背の前半は黑色なり。故に赤と黑との縞狀を呈す、頭部は大、複眼は暗赤色、觸角は大なる額瘤の上に位し體長より遙かに長く黑色なり。第一節は短大、第三節は最も長く鋸齒狀を呈し其齒狀突起上に感覺孔を具ふ。其數六十內外に達す。第四節は第五節より長く第五節は第六節の三倍に達す。第四乃至第六節(鞭毛部を除く)を加へて尙第三節の長さに達せず。第六節の鞭毛部は第六節の八倍乃至九倍に達するも第三節よりは短かし。而して各節の長さは平均粍にて左の如し。

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

第一節	第二節	第三節	第四節	第五節	第六節	鞭毛部	合計
〇・一四	〇・一	一・三	〇・三六	〇・三	〇・一	〇・九	三・二

嘴は長くして後肢の基部に達し前中兩胸は赤色、後胸より腹部の第五節までは黑色なり。尤も腹側の隆起線の所には斑狀に赤色を表せり。腹部は非常によく膨れ第六節に至りて最大、其より俄かに小となる。角狀管は長大にして有翅胎生雌蟲の如し尾片、臀板及肢は有翅雌蟲の如し、體及肢には黃色の細毛を粗生す。

分布、歐洲に最も普通なる種類にして熱帶地方にも產す。臺灣にては各廳至る所に普通なり。

宿主植物 Host Plants.

一 チシヤ(萵苣) Lactuca Scariola L. var. Sativa Bisch.

二 ノゲシ Sonchus oleraceus L.

三 アキノノゲシ Lactuca brevirostris Champ.

四 タイワンニガナ Lactuca formosana Max.

臺灣總督府農事試驗場所藏標本採集日附、

明治四十五年一月二十一日　阿緱廳恒春　牧茂市郎採集

大正二年二月十六日　臺北廳頂內埔庄　牧茂市郎採集

2. ゴバウノアブラムシ(新稱)

學名 Macrosiphum solidaginis Fabr.

異名 Aphis solidaginis Fabr., Hausmann, Kalt. Siphonophora solidaginis Pass.

有翅胎生雌蟲 Winged viviparous female.

體長	三、六粍	體幅	一、五粍
翅の開張	一〇、〇粍	觸角	四、二六粍
角狀管	一、三粍	尾片	〇、五粍
後肢	四、〇粍		

體は暗褐乃至黑褐色なり。頭部は黑色にして小、額瘤頗ぶる長大、額楯狹くして溝底狀を呈す。複眼は赤く附屬眼は甚だ明かに單眼顯著なり。而して單眼中々央の一箇は前下面に位し背面より見るを得ず。嘴は褐色、額片と嘴の基部及其末端の大部分とは黑色にして中肢の基節を越ゆ、觸角は體長よりも遙かに長く第一第二第三の各節は黑色其他は暗褐色なり。第一節は短大にして第二節の長さの一倍半に達す第三節は第六節の鞭毛部と殆んど等しきか或は僅かに之より長く第四第五兩節の和より僅かに短かし、第四節は第五節より明かに長く第六節は其鞭毛の六分の一大なり。各節共に短小なる毛を粗生す。第三節には頗ぶる多數の環狀感覺孔を數列に竝有し其數七十以上に達す。第五節には尋常の位置に一箇の感覺孔を有し第六節には普通の位置に數箇相集まりで一團をなせる感覺孔あり。而して各節の長さは粍にて左の如し。

第一節	第二節	第三節	第四節	第五節	第六節	鞭毛部	合計
〇·一七	〇·一二	一·二三	〇·七	〇·六三	〇·一二	一·三	四·二七

前胸は頭部の幅より僅かに廣く其長さも大なり色は黑し、中胸及後胸は黑色前者は頗ぶる大にして楯板は明瞭に隆起し漆黑の光澤あり。腹部は暗褐色楕圓形を呈し尾端は圓錐狀に尖り、腹側の隆

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

起線は顯著にして其上に三箇の黑色班紋を具ふ。而して隆起線の內方に當り各節一對宛（左右一箇宛）の小黑點を縱列す。更に角狀管の基部に一箇の黑色班紋あり。腹部腹面は一樣に褐色を呈し黃毛を密生す、腹背には粗に剛毛を具ふ。角狀管は黑色、頗ぶる長大にして遙かに尾片の先端を越へ觸角の第三節と殆むど等しきか或は之よりも長し。形圓筒にして橫經短小、僅かに左右に曲り基部は先端部より大なり末端は僅かに扁平、漏斗狀に終れり。尾片も亦黑色にして長く角狀管の約三分の一大なり。背面より見れば劍狀側面より見れば長刀狀を呈し、基部は大、中央部は漸次膨れ四五對の後內方に曲れる剛毛を生ず。臀板は黑色多毛なり。翅は甚だ長大にして透明、僅かに黃灰色を帶び翅脈は尋常、其色は黃色なり。緣紋は長大なり。前翅は長さ四、五粍幅一、五粍、後翅は長さ二、六粍幅〇、七粍に達す。後翅の抱刺は明かに小なる三鉤針より成る。肢は長く暗褐色、基節、腿節の末端部の大部分、脛節の基部及末端部、附節は何れも黑色なり肢は多毛なり。

無翅胎生雌蟲　Wingless viviparous female.

體長	三、八粍	體幅	一、六粍
觸角	四、一七粍	角狀管	一、三粍
尾片	〇、五粍	後肢	三、六粍

體は非常に大、色は暗褐乃至黑褐、頭部、複眼及嘴は有翅胎生雌蟲と等しく觸角は體長よりも遙かに長くして黑色なり。第一節は顯著なる額上瘤に位し第二節の約一倍半大なり。而して觸角各節の長さは粍にて次の如し。

第一節	第二節	第三節	第四節	第五節	第六節	鞭毛部	合計
0·二	0·一五	1·二〇	0·七	0·六	0·一七	1·一五	四·一七

第三節の基部は少しく淡色にして感覺孔無く末端部即ち第三節全長の約三分の一の末端は他の部分よりも小にして感覺孔無し。而して其殘りの中央部には大約四十五以上の環狀感覺孔あり。第五節六節には有翅雌蟲と同樣の感覺孔を具ふ。前胸は頭の幅と殆んど等しく、中胸より漸次腹部に至るに從ひ膨大し腹部第三節を最大とし又漸次尾端に向つて尖小す。胸部及腹部の各節には一横列をなして多くの黑色疣狀小突起を配置し其突起上より剛毛を生ぜり。腹面は一樣に褐色にして黃毛を密生す。角狀管は長く黑色にして尾片臀板及肢と共に有翅のものと同樣なり。

幼蟲は黃褐色を呈す。本蟲は宿主植物の花軸又は葉裏に群棲するを常とす。有翅のものは一二月頃最も多し。

分布、本蟲は歐洲に最も普通なるものにして印度其他の熱帶地にも普通なり。臺灣にては南北至る所に産す。

宿主植物　Host Plants.

一　ゴバウ(牛旁)　Arctium lappa L.

二　アキノキリンサウ　Solidago virga aurea L.

臺灣總督府農事試驗場所藏標本日附、

大正二年一月二十日　臺北廳頂內埔庄　牧茂市郎採集

大正三年二月四日　阿緱廳阿緱街　牧茂市郎採集

3. エンドウノアブラムシ(新稱)

學名　Macrosiphum pisi Kaltenbach.

異名　Siphonosiphum pisi Kaltenbach. Siphonosiphum destructor Johnson.

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

有翅胎生雌蟲 Winged viviparous female.

體長	三、二粍	體幅	一、三粍
翅の開張	七、〇粍	觸角	三、八五粍
角狀管	〇、八粍	尾片	〇、四五粍
前肢	二、六粍	中肢	二、八粍
後肢	三、五粍		

體は美しき綠色を呈し無翅胎生雌蟲よりも小なり。頭部は帶褐綠色、其幅は明かに長さよりも大にして其前端に相接近せる額瘤を備へ赤色の大なる複眼を具ふ。三箇の單眼中一箇は頭頂の中央に位し爲めに頭頂の中央稍突出す。觸角は帶褐綠色にして體長よりも遙かに長く第三第四第五第六の各節の先端及鞭毛は黑色なり。第一第二節は尖球狀、第三節は第六節の鞭毛よりも短かく第四節よりも僅かに長く大形の十七八內外の環狀感覺孔を殆んど一列に有す。第四節は第五節と殆んど等長、第六節(鞭毛を除く)の二倍強なり。第五六の兩節には普通の位置に夫々環狀感覺孔を有し、第六節鞭毛の三分の一より短かし。而して各節の長さは粍にて平均次の如し。

第一節	第二節	第三節	第四節	第五節	第六節	鞭毛部	合計
0·一五	0·一	0·八	0·七	0·七	0·三	一·一	三·八五

嘴は短大にして無翅胎生雌蟲と等しく、前胸は頭部と同色にして之より稍大なり。中胸は最大にして帶褐綠色、其楯板は稍濃色なり。腹部は長く全體綠色なり。角狀管は長く圓柱狀にして其先端は暗色、體の幅より少しく短かく基部大なり。尾片は劍狀にして體と同色、角狀管の半より大な

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

り。臀板亦綠色、細毛を粗生す。翅は長大、前緣脈副前緣脈及緣紋は暗色、其他の翅脈は黃褐なり。よく光線を反射し虹光を放つ。肢は長く無翅胎生雌蟲の如し。

無翅胎生雌蟲　Wingless viviparous female.

體長	四、五粍	體幅	二、〇粍
觸角	四、七粍	角狀管	一、一粍
尾片	〇、七粍	前肢	三、六粍
中肢	三、五粍	後肢	四、八粍

體は美しき綠色を呈し極めて大形の蚜蟲なり。頭部は淡綠色其幅は長さのより半も少しく大なり。額瘤顯著にして大、左右相接近し、複眼は赤色、附屬眼は小なり。觸角は黃綠色にして體長より明かに長し。第三第四第五の各節の先端及第六節の末端と其鞭毛とは黑色なり。第三節は第六節の鞭毛より僅かに短かきか或は之と等長なり。第四節は第三節より少しく短かく第五節は更に少しく短小なり。而して各節の長さは粍にて平均次の如し。

第一節	第二節	第三節	第四節	第五節	第六節	鞭毛部	合計
0·二	0·1	1·1	1·0	0·九	0·四	1·1	四·七

嘴は大にして中肢の基節に達し、先端は僅かに黑色なり。前胸は頭の幅より少しく大、中胸より腹部一帶に亘りて長楕圓形に膨れ、皮膚半透明にしてよく體中の幼蟲の眼を透視し得。腹部は時に暗綠の橫帶を有し或は側方に近く小黑點を羅列することあり。角狀管は甚だ細く其橫脛は觸角第四節のものと等しく其長さは第三節と等し、其色は體色と等しく先端は稍暗色を呈す。尾片は劍狀に

して甚だ長く、角狀管の三分の二內外に達し體と同色なり。極めて短かき小數の毛を粗生す。肢は長大、何れも淡黃綠色を呈し蹠節は黑色、脛節の末端部は暗褐なり。

幼蟲　Larva.

第一齡の幼蟲は棒狀の細長き形をなし、色は極めて淡し。觸角は明かに五節を數ふべく末端節最も長く其第三第四兩節の先端及末端の大部分は暗色なり。尤も產れたる當時は暫時この暗色部なし。觸角は明かに體長より長く角狀管は長く、長さは其幅の約四倍に達す。末端は暗色、圓柱狀なるも中央部にて僅かに彎曲せり。腹部は短大にして殆んど無色なり。嘴は中肢の基節を越へ末端は褐色を帶ぶ、體長一粍內外、體幅約〇、五粍、

蛹　Pupa

蛹は全體綠色にして中胸最大。翅基は淡黃なり。其他は大體に於て無翅胎生雌蟲の如し。

分布、溫帶地方に最も普通なる種類なり、臺灣にては北部に產す。

宿主植物　Host plants.

一、ソラマメ(蠶豆)　Vicia Faba L. var. equina Pers.

臺灣總督府農事試驗場所藏標本日附、

大正二年三月二十八日　臺北廳頂內埔庄　牧茂市郎採集

4. ペルシヤアブラムシ

學名　Myzus Persicae (Sulzer) Passerini.

異名　Aphis persicae Sulzer.

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

A. dianthi Schrank.
A. persicae Kalt.
A. persicophila Roudani.
Rhopalosiphum dianthi Schrank.
Aphis institiae Koch.
Myzus Persicae Boisduval.
M. persicae Sulz.-Buckton.
M. achyrantes Monell.
M. malvae Oestlund.

有翅胎生雌蟲. Winged viviparous female.

體長	二、一粍	體の幅	一、〇粍
翅の開張	八、六粍	觸角	二、二二粍
角狀管	〇、四七粍	尾片	〇、一七粍

體は綠色、背面には暗色の大なる斑紋あり。頭の長さは幅と殆んど等しく稍明瞭なる尖球狀の額瘤を具へ全體暗黑色なるも其基部は暗色なり。複眼は暗赤色、觸角は體長よりも遙かに長く第三節の基部は淡綠色其他は凡て暗灰乃至黑色なり。第一節は內方に向つて尖球狀、第六節の鞭毛は最も長く第三節之に次ぎ第四第五第一第二と順次短小なり。而して觸角の各節の長さは粍にて平均次の如し。

第一節	第二節	第三節	第四節	第五節	第六節	鞭毛部	合計
〇・一	〇・〇八	〇・五六	〇・四二	〇・三三	〇・一六	〇・五八	二・二三

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

第三節には十二箇內外の環狀感覺孔あり、第五節及第六節には尋常の位置に夫々一箇宛の大なる環狀感覺孔あり。而して後者には更に之を圍める小なるもの數箇存在す。嘴は淡黃殆んど中肢の基節に達し先端は暗色を帶ぶ。前胸は頭の幅より少しく廣く黑色にして其中胸に接せる基部の中央及兩側は僅かに淡綠なり中胸は黑色、よく發達し楯板は特に顯著なり。後胸は黑色の光澤を有し小なり。腹部は綠色、黃綠色或は褐色、腹背の第四第五第六の三環節に亘りて大なる暗黑斑紋あり。尙此前後の節にも斷續せる暗灰帶あり。腹側に近く第二第三第四節には夫々黑色の斑點を有し、角狀管の基部の後方にも亦黑斑を表はす。角狀管は甚だ長く尾片の先端を越へ、暗灰色圓柱狀にして其先端より少しく基部に近き所膨れて棍棒狀を爲す。之大切なる特徵の一なり。角狀管の先端は稍盃狀を爲せり、尾片は角狀管の半よりも遙かに短かく不正圓錐形にして側面より見れば背曲して鎌狀をなす。小數の刺毛を粗生し暗色なり。翅は透明よく光線を反射し虹光を放つ。副前緣脈は廣く暗黃、緣紋は汚色其他の翅脈は暗褐色を呈す。翅脈は尋常、後翅の抱刺は明かに三箇の小鈎針より成立す、肢は尋常、色は淡綠、前肢腿節の先端の二分の一、中肢腿節の先端部の三分の一、各節の脛節の末端及蹠節は暗色を帶ぶ。後肢の長さは約三粍に達す。

無翅胎生雌蟲 Wingless viviparous female.

體長	二、二粍	體の幅	一、一粍
觸角	一、七粍	角狀管	〇、四五粍
尾片	〇、二粍		

體色は黃綠乃至綠色にして光澤を有し美麗なり。又赤褐を呈するものも少なからず。余は先づ黃綠なるものに就きて記載し後者は終りに附記せんとす。

頭部の幅と長さとは殆んど等しく、著しく內方に尖球狀をなせる額瘤を具へ、複眼は赤色なり。觸角は額瘤の上に位し第一節は尖球狀なり。觸角は淡黃なるも第四節の末端より觸角の先端に至るまでは暗色なり。體長よりも短かく漸く角狀管の基部に達す。第三節は第六節の鞭毛よりも短かく、第四節は第三節よりも短かく第五節よりも長し、嘴は短かく漸く中肢の基節に達し先端は少しく暗色を帶び其他は淡黃なり。腹部は淡綠平滑にして光澤あり斑紋なし。臀板は暗色、角狀管は體と同色、其先端のみ暗色を帶び長くして尾片の先端に達し、殆んど圓柱狀なるも末端に近き所少しく德利狀に膨脹す。尾片は淡綠、圓錐形、少しく背方に彎曲し側面より見れば鎌狀を爲す。肢は普通蹠節は黑色其他は全部淡黃色なり。

本種は色彩の變化多く宿主植物に依りて多少異なるのみならず同一宿主植物にありても尙個體に依り大なる色の變化を示す。然れども黃綠より綠色を經て赤褐に至る間の各種の濃度を示すものにして其他の色を呈することなし。赤褐種に在りては上述せる記載中綠なる文字を赤褐の二字に置き換ふれば足れり。此赤褐種はギレット氏の記載したる卵生雌蟲によく似たる所あるも余は飼育して胎生雌蟲なることを確めたり。

幼蟲　Larva.

第一齡の幼蟲は淡黃綠色乃至淡黃色にして體長〇、七粍內外に達し、頭部は頗ぶる大、中央に近く綠色の二縱線あり。觸角は明かに四環節より成り、體長の半より少しく長し。複眼は赤色、腹部は小、角狀管は短かく長さは幅の約二倍あり。肢及尾片は共に體と同色、蹠節は暗色、肢は短大、小毛を粗生す。

蛹　Pupa.

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

體長	二、一粍	體の幅	一、〇粍
觸角	一、七粍	角狀管	〇、四五粍
尾片	〇、一八粍		

體は淡黃色、頭部は無翅胎生雌蟲の如く、觸角複眼及嘴等も亦之に類す、前胸は稍大、中胸は最大、翅基は淡黃乃至淡黃褐色、先端部は暗色なり。後胸は小にして中胸と相似なり。胸背の中央と兩側とには綠色の一帶縱走す。腹部は淡綠、其中央及兩側に近く綠色の縱帶ありて胸背のものと接續す。角狀管、尾片、肢其他は無翅胎生雌蟲と同一なり。

分布　世界共通、臺灣にては南北東西を通じて至る所に分布せり、蔬菜の害蟲として最も普通なるものなり。

宿主植物　Host plants.

一　ダイコン（萊菔）　Rhaphanus sativus L.
二　カンラン（甘藍）　Brassica oleracea L. capitata.
三　ハナヤサイ（花椰菜）　B. oleracea L. cauliflora.
四　ミヅナ（水菜）　B. japonica Thunb.
五　カブラ（蕪菁）　B. compestris L.
六　ジヤガタライモ（馬鈴薯）　Solanum tuberosum L.
七　ナスビ（茄子）　S. melongena L.
八　タバコ（煙草）　Nicotiana tabacum L.
九　ナシ（梨）　Pirus sinensis L.
十　スモモ（李）　Prunus Communis Huds.

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

十一　ザボン（柚仔）　Citrus Aurantium L. var. Decumana Bonavia.

十二　ミカン（蜜柑）　Citrus nobilis Lour.

臺灣總督府農事試驗場所藏標本日附、

大正元年十月二十日　臺北廳頂内埔庄　牧茂市郎採集

5. チシヤノミドリアブラムシ（新稱）

學名　Rhopalosiphum lactucae Kaltenbach.

異名　Aphis lactucae Kalt., Walk.

Rhopalosiphum lactucae Pass.

有翅胎生雌蟲　Winged viviparous female.

體長	二、二粍	體幅	〇、九粍
翅の開張	五、六粍	觸角	二、二五粍
角狀管	〇、三六粍	尾片	〇、二六粍

體は綠色、頭部は暗黑色、額瘤は小にして相隔たり。複眼は赤色、單眼は明かに其中一箇は額楯の中央に位し頭頂をして尖らしむ。嘴は黃色、其基部と先端とは暗色を帶び中肢の基節に達す。觸角は體長よりも少しく長く全體黑色なり、尤も第三節の基部は僅かに淡色なることあり。第六節の鞭毛は非常に細長く第三節よりも著しく長く第六節の五倍に達す。第三節は第四節よりも遙かに長く、第四節は第五節よりも僅かに大なり。而して觸角の各節の長さは平均粍にて次の如し。

第一節	第二節	第三節	第四節	第五節	第六節	鞭毛部	合計
〇・三	〇・一	〇・六二	〇・四	〇・三六	〇・一五	〇・八	二・五五

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

第三節には三十五内外、第四節には十三内外、第五節には七箇第六節には尋常の位置に一箇の環狀感覺孔あり。第五節の最も先端に近く位する感覺孔は最大なり。前胸は黑褐色の横帶を爲し中胸の腹面及側面は黑色、楯板及後胸は黑褐なり、腹部は美しき綠色、體節の境明かに暗色を呈することあり。腹背の中央より第五腹環節に亘りて二三帶の幅廣き一文字形の黑色横紋あり。腹側に近く明かなる黑斑三對を竝列し、更に角狀管の基部に接して前方には小後方には大なる黑斑を具ふ。角狀管は長く尾片の先端を越ゆ。基部は細く三分の一の所にて著しく膨大し再び漸次小となり、棍棒狀を爲す。先端は盃狀に終れり。尾片は角狀管の約三分の二に達し劍狀を呈し數箇の小刺毛を生せり。角狀管、尾片及臀板は綠色なり。翅は相當の長さを有し透明、翅脈尋常にして汚黃褐色、副前緣脈及緣紋は汚綠色、緣紋の先端より三分の一の點より緣紋脈出づ。後翅の抱刺は三箇の小鈎針より成る。肢は細長く、黃綠色、腿節の先端より約三分の二、脛節の先端より約四分の一、跗節の全部は何れも黑色なり。

無翅胎生雌蟲　Wingless viviparous female.

體長	二、四粍	體幅	一、〇粍
觸角	二、三九粍	角狀管	〇、四粍
尾片	〇、三粍		

體は美しき綠色・形は長楕圓、體表稍滑澤あり。頭部は平たく幅は長さの二倍以上あり。額楯は殆んど扁平にして廣く數對の淡色毛を生ず。額瘤は甚だ小なり。嘴は淡綠、有翅胎生雌蟲の如し。複眼は赤色、觸角は體長と殆んど等しきか或は之より僅かに短かし。淡綠色にして第三節と第四節と第五節との末端は夫々黑色、第六節の感覺孔の附近も亦黑し。而して　角各節の長さは粍にて平

均次の如し。

第一節	第二節	第三節	第四節	第五節	第六節	鞭毛部	合計
0·三	0·二	0·六	0·四	0·三六	0·二四	0·六八	二·三九

第三節には二十三箇内外、第四節には六箇、第五第六節には普通の位置に夫々一箇宛の大なる環狀感覺孔を具ふ。胸部及腹部には全く斑紋なく一様に淡綠なり。尾端は圓錐狀に尖り、角狀管及尾片は有翅胎生雌蟲と等しく、肢は細長、淡綠色を呈し脛節の先端と跗節とは黑色なり。腿節の先端も暗色なるものあり。

幼蟲及蛹　Larva and pupa.

幼蟲は淡黃色、蛹は綠色にして斑紋なく翅基も亦綠色なり、

分布　世界共通、臺灣にては南北共に普通なるも蔬菜には多からず、雜草に多し。

宿主植物　Host plants.

一　アキノノゲシ　Lactuca brevirostris Champ.

二　タイワンニガナ　L. formosana Max.

三　チシャ（萵苣）　L. scariola L. var. sativa Bisch.

臺灣總督府農事試驗場所藏標本日附

明治四十五年五月五日　臺北廳頂內埔庄　牧茂市郎採集

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895

6 ダイコアブラムシ

學名 Aphis brassicae L.

異名 Aphis raphani Schr. Masley.

A. floris-rapae Curtis.

有翅胎生雌蟲 Winged viviparous female.

體長	一・六五粍	體幅	〇・八〇粍
翅の開張	五・六〇粍	觸角	一・三五粍
角狀管、	〇・一六粍	尾片	〇・一二粍

體は綠色、屢白粉末の少量を裝ふことあり、頭部は黑色にして前後の長さは左右の幅よりも少しく短かく、額楯は凸なり複眼は赤褐色、觸角は直接頭部より起り、體長よりは少しく短かく暗褐乃至暗黑色を呈す、觸角を後方に仆すときは體長の約四分の三に達す、第三項までは太く第四節より僅かに細小となる第三節は第六節の鞭毛よりも長く、第四節は第六節の鞭毛より短かく第五節よりも明かに長し、第六節は其鞭毛の三分の一より長く二分の一より短かし、而して觸角各節の長さは粍にて平均左の如し。

第一節	第二節	第三節	第四節	第五節	第六節	鞭毛部	合計
0・〇八	0・〇七	0・三六	0・二三	0・一八	0・一四	0・三二	1・三五

第三節には二十以上三十六以下の環狀感覺孔を有し、不規則なる數列に竝列せり、第五及第六の

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

兩節には尋常の位置に夫々一箇宛の大なる環狀感覺孔あり、觸角の毛は少なし、嘴は漸く中肢の基節に達し、淡綠色なるも基部と先端とは暗色なり、前胸は綠色にして其中央に幅廣き暗黑の横帶あり、後胸は大にして背腹共に黑色、楯板は何れも明かにして黑色なり、腹部は大に膨れ、綠色を呈し其側面に近き背面には五對の黑紋を有し、內一對は角狀管よりも後方に位す、尙背面には不規則なる暗色横帶を有す、角狀管は圓柱狀にして短かく、其先端よりも少しく下の方に於て稍縊れたる所あり、基部も僅かに狹し、幅は長さの約三分の一なり、色は暗色乃至暗褐、其先端は黑し、尾片は暗綠色或は帶褐暗綠色を呈し甚だ小、形は圓錐狀にして先端は圓し、小數の刺毛を粗生せり、臀板は著しく黑色なり、翅は幅廣く透明にして翅脈は暗褐、副前緣脈は暗黃なり、緣紋は汚黃色乃至灰黃なり、前翅の長さ二・七粍幅一・〇五粍後翅は長さ一・五粍幅〇・五粍に達す、後翅の抱刺は明かに三箇の小鈎針より成る、肢は相當の長さと大さとを有し、腿節の末端の大部分、脛節の先端の大部分及蹠節は暗黑なり、有翅胎生雌蟲は臺灣にて四月末と十二月に最も多く現はる。

無翅胎生雌蟲 Wingless viviparous female.

體長	二・〇〇粍	體幅	一・一〇粍
觸角	一・二六粍	角狀管	〇・一八粍
尾片	〇・一二粍		

體は廣楕圓形にして尾端尖り、體色は綠なり、然して全體著しく白粉末にて被はれ地色を隱せり、この白粉を除けば頭部は暗綠色、屢々暗灰色を呈し、頭頂鈍圓狀をなす、額瘤を缺ぎ複眼は赤褐なるも殆んど黑色に見へ、觸角は體長よりも遙かに短かく、約其の五分の三內外に過ぎず、觸角は綠色にして第一第二及第四節の末端の半分より第六節の先端に至るまでは黑色なり第三節最も長く鞭

毛部を含めたる第六節の長さに殆んご等しく、第五節明かに第四節より長し、第六節は其の鞭毛部の三分の一內外なり、而して觸角各節の長さは粍にて平均次の如し。

第一節	第二節	第三節	第四節	第五節	第六節	鞭毛部	合計
0·08	0·07	0·40	0·15	0·18	0·10	0·3	1·26

感覺孔は第五節と第六節とに尋常の位置に一箇宛存在するのみ、前胸の背面には一對の大なる黑斑あり、中後胸の側方に近く又一對の黑點あり、腹部の各節の背面の側方に近き所に夫々一對の黑點を縦列し、更に其間に當りて各節共に四箇の黑點を横に縦列し內方に存在せるものは外方にあるものより小なるを常とす、體の後方に位する黑點は相連續すること多く、特に第七及第八腹背に位するものは一本の大なる横帶となるを常とす、角狀管は暗褐色乃至黑褐色にして形狀は有翅のものと等し、尾片は暗綠乃至暗褐にして圓錐狀を爲し先端圓く小刺毛を粗生す臀板は黑色なり、肢は暗黃褐色或は帶綠暗褐色にして腿節の先端と脛節の先端と跗節とは黑色なり、本島にては好んで十字花科植物の蔬菜類の花軸、莢及び葉の裏面に群棲す。

分布、殆んご世界共通、

宿主植物　Host plants.

一、ダイコン(萊菔)　Rhaphanus sativus L.

二、ワサビダイコン　Co-chlearia Amoracea L.

三、カンラン(甘藍)　Brassica oleracea L. capitata.

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

四、カブラ(蕪菁)　B. campestris L.
五、カラシナ(芥菜)　B. cernua Thunb.
六、オホカラシナ　B. juncea H. F. et. T.
七、タネツケバナ　Cardamine hirsuta L.

臺灣總督府農事試驗場所藏標本日附

明治四十五年四月十五日　臺北廳頂內埔庄　牧茂市郎採集
大正元年十二月二十三日　臺北廳頂內埔庄　故緒方太採集

7 ダイコアブラムシモドキ(新稱)

學名　Aphis pseudobrassicae Davis.

有翅胎生雌蟲　Winged viviparous female.

體長	二・一五粍	體幅	〇・九粍
翅の開張	六・四粍	觸角	一・五六粍
角狀管	〇・二二粍	尾片	〇・一八粍

體は淡綠又は帶白綠色、頭部は黑色、其前後の長さは左右の幅の約二分の一に過ぎず、額瘤は僅かに存在し、額楯の中央は尖りて前方に突出し其上に一箇の單眼を供ふ、複眼は赤色なるも殆んど黑色に見ゆ、嘴は中形にして中肢の基節に達し汚黃色其基部と末端とは廣く黑色なり、觸角は黑色、體長よりは遙かに短かく之を後方に伸ばせば殆んど角狀管の基部に達す、第三節は殆んど第四第五兩節の和に等しく第六節の鞭毛より僅かに長し、第四節は第五節よりも長く第五節の鞭毛は第六節の基部の約三倍以上なり、而して其各節の長さは大凡粍にて次の如し。

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

第一節	第二節	第三節	第四節	第五節	第六節	鞭毛部	合計
0・〇八	0・〇七	0・四二	0・二五	0・二二	0・一二	0・四	1・五六

第三節には十九乃至二十六普通二十箇、第四節には六箇乃至十二箇の大なる環狀感覺孔を具ふ、第五及第六節には尋常の位置に夫々一箇宛の環狀感覺孔あり、第五節には更に其中央に一箇の感覺孔を有するを常とす、大體に於て觸角には毛少なし、前胸背は黑色、小疣狀突起なし、中胸は最大にして側面腹面及背面は共に黑色、楯板は大にして漆黑、後胸は明かにして黑し腹部は綠色又は淡綠色、腹側に近く三箇宛の大なる黑紋あり、稍小なる黑紋一箇は更に角狀管の基部に位す、腹背の第一節には細き黑色橫帶を具へ、第二より第五に至る間には夫々不規則にして所々斷絕せる小黑點の一橫帶あり、腹背の中央部は特に小黑點消失せるものあり、第六節以下の各節には明かなる橫黑帶あり、角狀管は觸角の第三節の半大にして圓柱狀を呈し、三分の二の先端僅かに膨れ先端は又縊る、色は汚暗、先端は淡く、尾片の先端に達せざること遠し、尾片は劍狀角狀管の三分の二より大なり、背方に直立し中央及末端より少しく基部に近き所稍膨脹せり、楯板は黑色、尾片と共に小刺毛を粗生す、腹部の腹面は一樣に淡綠色を呈し氣門は明かに黑色なり、翅は透明、可なり大にして翅脈は尋常、副前緣脈は淡黃、緣紋は短大にして灰黃・其他の翅脈は暗黑色にして大なり、前翅は長さ二・八粍幅一・〇粍に達す、後翅の抱刺は明かに三箇の小鈎針より成れり。肢は短かく殆んど黑色、腿節の基部と脛節の中央部(脛節の約半)とは暗黃なり、多くの毛を密生す。

無翅胎生雌蟲　Wingless viviparous female.

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

體長	二・五〇粍	體幅	一・三〇粍
觸角	一・三四粍	尾片	〇・一五粍
角狀管	〇・二五粍		

體は大、卵圓形をなし淡黃綠色なり、頭部は甚だ小、頭頂は圓く明かならざる額瘤を具へ互に左右に相隔れり、頭部は他部よりも稍暗色を帶び、複眼は暗赤乃至黑色、嘴は白く其基部と先端の大部分とは黑し、觸角は黑色第一第二及び第三節の基部は稍淡色なり、體長の半大にして、第三節最長第四第五兩節の和より大、第六節の基部と鞭毛部との和よりも僅かに長し、而して各節の長さは粍にて次の如し。

第一節	第二節	第三節	第四節	第五節	第六節	鞭毛部	合計
0・0八	0・0七	0・四二	0・二0	0・一七	0・一0	0・三0	一・三四

前胸は小梯形に後方に開き、中胸も亦小、前胸の後緣より梯形に後方に開き、後胸より腹部に亙りて卵圓形に腫脹し甚だ大なり、體を鏡下に照せば極めて微小なれども薄く且つ僅かに白色細粉を粧ふ、而して體の表皮は全體龜甲狀の網目を有し美麗なり、腹背の側方に近く黑色の氣門を羅列し其所は少しく凹溝狀を爲し之に接して隆起線を走らす、各節四箇の大なる楕圓形の白粉を粧はざる綠色の斑紋を胸腹の背面に羅列し兩端の一箇宛は小にして隆起線上に位す、尾節に近き三節の綠紋は相連なりて橫帶を爲す、而して此斑紋は何れも光澤あり、角狀管尾片及臀板は大體に於て有翅蟲の如し、最も尾片は有翅蟲のものより濃色にして屢々黑色を呈す、腹部腹面は一樣に淡黃綠色、肢

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

は殆んど有翅蟲の如く之より僅かに淡色なり。

幼蟲第一齡 Larva, First instar.

體長	〇・八粍	體幅	〇・四粍
觸角	〇・四粍		

第一齡の幼蟲の體は細長く、色は淡綠なり、頭部は大、幅と長さと殆んど等しく、觸角及肢は暗色乃至灰色なり、頭部には二箇の縦綠線あり、體の綠紋は無翅胎生雌蟲と殆んど相似なり、角狀管は綠色、長さは幅よりも少しく長く圓柱狀なるも先端は基部より僅かに小なり。

蛹 Pupa.

體長	二・〇〇粍	體幅	一・〇〇粍
觸角	一・二〇粍	角狀管	〇・二五粍
尾片	〇・一五粍		

體は淡黃綠色、頭部には二條の綠帶あり、觸角複眼及嘴は無翅胎生雌蟲の如く、前胸は稍大、中胸最大にして綠色、後胸も亦一樣に綠色なり、翅基は前後共に黑色、腹部は殆んど圓形、網目狀の構造を有す、無翅胎生雌蟲と殆んど等しき分布をなせる綠斑紋あり、綠斑紋は何れも光澤を有す、肢は有翅蟲の如く其他は無翅蟲の如し。

分布、印度、臺灣

宿主植物 Host plants.

一、ダイコン(萊菔) Rhaphanus sativus L.

二、ワサビダイコン Co-chlearia Amoracea L.

三、カブカンラン（蕪菁甘藍） Brassica oleacea L. caulo-rapa.
四、ハナヤサイ（花椰菜） B. oleacea L. cauliflora.
五、カンラン（甘藍） B. oleacea L. capitata.
六、カラシナ（芥菜） B. cernua Thunb.
七、オホカラシナ（大芥） B. juncea H. F. et. T.
八、カブラ（蕪菁） B. campestris L.
九、コモチカンラン（子持甘藍） B. oleacea L. bullatagemminifera.
十、タネツケバナ Cardamine hirsuta L.
十一、セリ（芹） Oenanthe stolonifera Dc.
十二、オランダセリ（旱芹） Carum petroselinum Benth.
十三、バウフウ（防風） Siler divaricatum B. et. H.
十四、ニンジン（胡蘿蔔） Daucus carota L.

臺灣總督府農事試驗場所藏標本日附

大正元年十月二十一日　臺北廳頂內埔庄　牧茂市郎採集
同　同　故緒方太採集

注意、本種は最も臺灣に普通にして最もよく蔬菜類を害するものなり、一九一四年ダビス氏に依りて發表せられたる印度種と同一のものなりと信ず。原記載は酒精漬のものに依りたるものか體著しく縮小せるが如し、余は生ける標本に依り記載せるを以て同氏のものとミジユアメント一致せざる點ありと雖も其他の點全く相一致す。

8 ワタアブラムシ

學名 *Aphis gossypii* Glover.

異名 *Aphis citrulli* Ashmead.

Aphis cucumeris Forbes.

有翅胎生雌蟲 Winged viviparous female.

體長	一・三粍	體の幅	〇・六粍
翅の開張	四・五粍	觸角	一・〇粍
角狀管	〇・二粍	尾片	〇・一一粍

體は暗綠乃至黑色若しくは橙黃色なり、頭部は黑綠乃至黑色のもの多く、幅は長さよりも非常に大、複眼は暗赤色又は暗褐色なり、觸角は直接頭部より起り額瘤なく、體長より短かく、之を後方に伸せば體の三分の二より短かく二分の一よりは長し又屢々角狀管の基部に達することあり、小數の短毛を具へ第一第二節は黑色、第三節は殆んど黑色なるも基部は黃白なり、第四第五節は淡黃、其先端は各々暗黑、第六節は全部黑色なり、第六節の鞭毛は最も長く第三節之に次ぎ第四第五節は順次短小なり、而して觸角各節の長さは平均粍にて次の如し。

第一節	第二節	第三節	第四節	第五節	第六節	鞭毛部	合計
〇・〇六	〇・〇四	〇・二三	〇・一七	〇・一六	〇・一〇	〇・二五	一・〇〇

第三節には四乃至八箇の大なる環狀感覺孔あり、嘴は淡黃色、其基部と末端とは暗色、細長にして後肢の基節に達す、前胸は暗色若しくは黑色、頭部よりは僅かに廣く、側方に明なる小疣狀突起

あり、中胸はよく發達し黑色、楯板は頗ぶる大なり、腹部は橙黃色なるも其後半は漸次綠色となり、暗綠色の大網目狀模樣を呈するを常とす、又屢々黑色乃至暗綠色の箇體あるも其腹背には必らず此不規則の網目あり、腹側に近く四箇の黑斑羅列し、最後の一箇は角狀管の基部の後方に位す、腹側には小疣狀の突起を有し、角狀管の後方に位するもの最も明かなり、角狀管は圓柱狀、基部最も廣く先端小なり、色は暗色にして長く横皺の肋線明かなり、臀板は黑色多毛、尾片は綠色、角狀管の半より僅かに長く、內曲せる二對の長刺毛を生ず、翅は擴大、透明、翅脈は典型的なり、前緣脈は暗色、副前緣脈は幅廣くして黃白色を呈するが故に翅を疊みたる時は極めて明かに認め得らる、緣紋は小、淡黃色なり、第一斜脈は直線狀、第二斜脈は體の方に少しく曲り、第三斜脈は二回分岐して少しく內方に曲れり、第一分岐脈は其殆んど中央より出で第二分岐脈は第一分岐脈の中央より僅かに先端に近く起れり、後翅は小、副前緣脈は二回彎曲し抱刺は相接近せる三本の小鈎針より成る、凡ての他の翅脈は暗黃色を呈す、肢は淡黃又は黃白、小毛を粗生し、腿節と脛節の先端とは黑色、後肢の腿節の末端は屢々暗色なり、肢の長さは體長よりも少しく長く、後肢は一・四粍に達す。

無翅胎生雌蟲

體長	一・六乃至一・八粍	體幅	〇・八乃至一・〇粍
觸角	一・二粍	角狀管	〇・三粍
尾片	〇・一六粍		

體は有翅のものよりも一般に大なり、體色は甚だ變化に富み深綠色、暗綠色乃至黑綠色を呈し又黃色乃至黃綠色を呈するものあり、體表は必らず平滑ならず、光澤を缺く、頭部は腹部より僅かに濃色、頭頂は圓く、頭の長さと幅とは大差なし、複眼は暗赤色、觸角は體長よりも短かく其半より

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

は長し、之を後方に伸すも角狀管の基部に達せず、第一第二の兩節は短大にして暗黑色、第三第四の兩節及第五節の大部分は淡黃、第五節の先端と第六節全體は黑色なり、嘴は長く後肢の基節に達し淡黃にして其先端と基部とは暗色を呈す、前胸は極めて短かく、側方の小疣狀突起は顯著なり、黑色にして殊に其兩側部は濃し、中後胸は狹く、腹部はよく肥大し、側面には小疣狀の突起を羅列し色は黃、綠、暗綠乃至黑綠又は殆んど黑色に近く、光澤なく平滑ならず、如何なる濃色の個體も顯微鏡下に照せば必らず綠色を帶び又は腹背に淡色の不規則なる網目、或は雲狀模樣あるか又は腹背の中央一帶に淡色なるを發見すべし、之に反して尾部に近き所は常に他より濃色なり、角狀管は長き圓柱狀にして黑色、先端稍淡色なり、角狀管は基部に至るに從ひ太く先端より三分の一の所少しく縊る、臀板は黑色多毛、尾片は角狀管の半大なるか或は之より僅かに大にして暗綠色、圓錐形を呈し內曲せる二三對の刺毛(普通二對)を有す、肢は普通、基節と脛節の先端と蹠節とは暗色、其他は黃白なり。

幼蟲　Larva.

幼蟲は暗綠色を常とし又屢々黃色或は黃褐色のもの少なからず。

蛹　Pupa.

體長　一・〇乃至一、四粍　　體幅　〇・七　乃至〇・八粍

觸角　〇・八粍　　角狀管　〇・一五乃至〇・一八粍

體は暗汚黃色乃至暗綠色、頭部は暗綠色又は黑綠色にして額楯は圓し、複眼は暗赤色、觸角は短かく之を後方に伸すも角狀管の基部に達せず、色は淡黃、第一、第二、第六節及第四第五節の末端は黑し、觸角各節の長さの比は有翅蟲の如し、前胸背は黑色頭の幅と其幅を等しくし、中胸背は著

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

しく大、暗黃色を呈し翅基の基部は淡色末端部は暗褐なり、後胸は小、腹部は汚黃綠色環節の境明かに縊れ、兩側には起隆線あり後部と共に暗色又は黑綠色を帶び、腹部一帶に銀白の粉末を密布す、角狀管は圓柱狀にして長く黑色、尾片は其半に達し暗綠圓錘形、二對の內曲せる小刺毛を具ふ、腹部腹面は暗綠色、其他の點は無翅胎生雌蟲の如し。

分布　世界共通、

宿主植物　Host plants.

一、ワタ(草棉)　Gossypium herbaceum L.
二、ブッサウゲ(扶桑)　Hibiscus rosa-sinensis L.
三、ムクゲ(木槿)　Hibiscus syriacus L.
四、ナシ(梨)　Pirus sinensis L.
五、瓜類　Cucumis spp., Cucurbita spp., Citrullus spp.
六、柑橘類　Citrus spp.

臺灣總督府農事試驗場所藏標本日附

明治四十五年六月十二日　臺北廳頂內埔庄　牧茂市郎採集
同　同　故緒方太採集

9 マメアブラムシ

學名　Aphis rumicis L.

異名　Aphis fabae Scop.
A. genistae Scop

A. adoxae L.
A. euonymi Fab.
A. papaveris Fab.
A. hortensis Fab.
A. viciae Fab.
A. chenopodii Schrank.
A. thlaspeos Schrank.
A. laburni Kalt.
A. dahliae Mosley.
A. viburni Scop.
A. armata Hausm.
A. cracae L.

有翅胎生雌蟲 Winged viviparous female.

體長	一・八粍	體幅	〇・八五粍
翅の開張	四・八粍	觸角	一・四五粍
角狀管	〇・三五粍	尾片	〇・一五粍

體色は一般に眞黑なれども其幼きものにありては帶黃暗褐色を呈することあり、頭部は中庸大、眞黑にして微小なる額瘤を備へ、其上に觸角を載す、頭の幅は長さよりも著しく大、頭頂には一對の小刺毛あり、複眼は暗赤色、殆んど黑色に見ゆ、嘴は中肢の基節に達し基部と先端とは黑く中央

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

は黄褐なり、觸角は體長の半よりも長く黒色なり、但第三節の基部の大部分及第四節の基部の大部分は淡色なるを常とす、觸角は六節より成り第三節最も長く、第四第五の兩節は殆んと等長なり、第六節の基部は其前節の半にして其鞭毛は第三節よりも長し、第三節には五六箇の環狀感覺孔を有す、而して觸角各節の長さは平均粍にて次の如し。

第一節	第二節	第三節	第四節	第五節	第六節	鞭毛部	合計
〇・〇八	〇・〇七	〇・三二	〇・二六	〇・二六	〇・一三	〇・三七	一・四九

前胸も亦黒色にして其兩側には小疣狀突起を有す、中胸は最大楯板よく發達し眞黒なり、後胸は小にして黒く、腹部は黒色楕圓形、側方に夫々小疣狀突起を備へ其一つは角狀管の後方に位す、角狀管は黒色圓柱狀にして觸角の第三節より長大なり、基部は少しく膨大し、横皺多し、尾片は黒色彈丸狀にして基部に近き部分少しく小さく中央部稍大に、背方に彎曲す、三對の內方に曲れる刺毛ありて鱗片狀の構造を有す、翅は大、透明にして幅前緣脈及緣紋は汚黄色、其他の翅脈は黒色なり、前後翅共に翅脈は尋常にして後翅の抱刺は四個の小鈎針より成る、前翅は長さ二・二粍、幅〇・八粍、後翅は長さ一・四粍、幅〇・四粍あり、肢は尋常、暗黄色にして基節、腿節の末端部の三分の二、脛節の末端及蹠節は暗灰若しくは黒色なり。

無翅胎生雌蟲 Wingless viviparous female.

體長 二・〇粍　　體幅 一・一粍

觸角 一・三四粍　　角狀管 〇・四三粍

尾片 〇・一五粍

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

農業部農業試驗所 TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE 1895

體はよく肥へ卵圓狀を爲す、全體黑色にして光澤を有す、皮膚は龜甲狀の組織を有す、頭部は短かく頭頂は平たく、複眼は黑く、嘴は有翅蟲の如く、觸角は體長の半より遙かに大なり、第一第二節は短大にして黑色、第五節の中央より觸角の先端に至る迄は黑色、其他は黃褐なり、但し第三第四節の先端は僅かに黑し、第三節最も長く、第六節の鞭毛は之より少しく短小なり、第四節は第五節より長く第五節は第六節の基部の二倍大なり、而して各節の長さは粍にて次の如し。

第一節	第二節	第三節	第四節	第五節	第六節	鞭毛部	合計
0·〇七	0·〇六	0·三七	0·二五	0·二二	0·一一	0·二六	一·三四

前胸背は小、其兩側に小疣狀突起あり、腹部は大、側方には五箇の小疣狀突起あり、其中一箇は角狀管の後方に位す、角狀管は黑く長大にして圓柱狀を呈し基部少しく大、橫皺多し、其他は有翅蟲の如し。

分布　殆んど世界各地に產す、臺灣にては荳類に普通なり、

宿主植物　Host plants.

一、ササゲ(豇豆)　Vigna sinensis Hassk.

二、ダイヅ(大豆)　Glycine hispida Max.

三、インゲンマメ(菜豆)　Phaseolus vulgaris L.

臺灣總督府農事試驗場所藏標本日附

大正元年十月三十日　臺北廳頂內埔庄　牧茂市郎、緒方太採集

正誤表

頁	行	誤	正
四	一	前部	前胸
九	六	3	1
一一	九	Scariola Sativa	scariola sativa
一四	一三	Virga aurea	Vira-aurea
一七	一七	Persicae	persicae
二三	二	Citrus.	citrus
二三	五	アプラムシ	アブラムシ

L. yr

農業部農業試驗所
TAIWAN AGRICULTURAL RESEARCH INSTITUTE
1895

BULLETIN NO. 103. OCTOBER 1916.

AGRICULTURAL EXPERIMENT STATION

Government of Formosa.

Plant Lice Affecting Vegetables.

By
Moichiro Maki.

Published by the Station.
Taihoku, Formosa,
Japan.